



社協だより

ほほえみ

No.38

2015年5月1日

- | | |
|------|-------------------------|
| P2・3 | ■ 平成27年度予算・事業計画 |
| P4 | ■ ボランティア活動報告 |
| P5 | ■ 児童デイサービス事業・赤十字社員増強月間 |
| P6 | ■ ふれあい・いきいきサロンをはじめませんか？ |
| P7 | ■ あなたの生活によりそいます！ |
| P8 | ■ 香典返し・心配ごと相談等事業 |

発行／社会福祉法人 和水町社会福祉協議会
TEL 0968-34-2366・0968-34-2390



この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

事業計画

社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と明記されています。地域住民を会員とする社会福祉法人として、地域住民が直面している地域福祉の課題や問題の解決に取り組み、“だれもが安心して和水平町に暮らすことが出来る地域福祉の実現”を目指します。

近年、認知症をお持ちの方への対応、孤独・孤立死、8050問題など社会を取り巻く問題が全国的に多く発生しています。これらの問題・課題は本町においても起こりうる事態であり、早急な対応が求められています。これらの問題解決の糸口となる地域福祉活動計画は、27年度3年目を迎えます。多くの課題、問題解決に向けての取り組みが実施できていない反省を踏まえ、地域福祉の充実を推進していくためにも、職員自ら地域に出向いて(アウトリーチ)地域住民の意見・要望等を取り入れ、その中で地域または個人が抱える課題や問題を発見し、その解決に向けて地域住民、ボランティア、民生委員・児童委員、行政、関係団体等の多業種協働による支援を推進します。

また、25年度途中から、国のモデル事業として受託しています、「生活困窮者総合相談支援モデル事業」においては、27年度より全国で施行されることが閣議決定されており、一部形態を変更し、引き続き1人でも多くの方が、自立した生活を送ることが出来るように寄り添い・伴走型の支援が展開できるように関係機関と共に事業を推進します。

さらに、平成12年から施行されています介護保険事業につきましても、今回の改正により、今まで以上に在宅で生活を送られる方が増えると予想され、在宅での支援の方法も関係機関との調整または、新たなサービスの開発が求められます。社協としても、在宅で元気に過ごしていただけるようにアクティビティ事業の回数を増やすなどの対応を予定しています。

今後は、今まで以上に、社会福祉協議会の意義・役割について十分に検討し、新たな事業創出も視野にふまえて、既存事業の見直しや課題の整理を行い、地域福祉の更なる充実と向上に向けて、社協職員としての資質向上に努めると共に、職務への自覚と責任を持って取り組んでいきます。

ご近所支え合い活動の充実

- 児童デイサービス事業
- 要援護者台帳の活用
- 虚弱高齢者アクティビティ事業
- ひとり暮らしふれあい招待会
- 地域の実態把握事業
- ひとり親家庭支援事業
- 物品貸出事業
- 男性料理教室事業
- 世代間交流事業
- 福祉座談会の充実
- 介護予防教室事業
- 座談会実施地区の継続支援
- 出前講座の開催
- ふれあいサロン事業の支援
- 福祉協力員(仮)の設置検討
- 見守りマップの作成

福祉人材・福祉文化の充実

- 健康生活支援講習会
- サロンボランティア養成講座
- 総合的な学習の時間の支援
- 中学生ワークキャンプ事業
- 福祉協力校への助成
- 実習生受入体制の整備
- ボランティア連絡協議会・団体への支援
- ボランティア相談の受付・紹介
- ボランティアに関する各種講座
- 災害ボランティアセンター設置訓練等の実施
- 災害ボランティア講習会の実施

関係機関・団体との連携

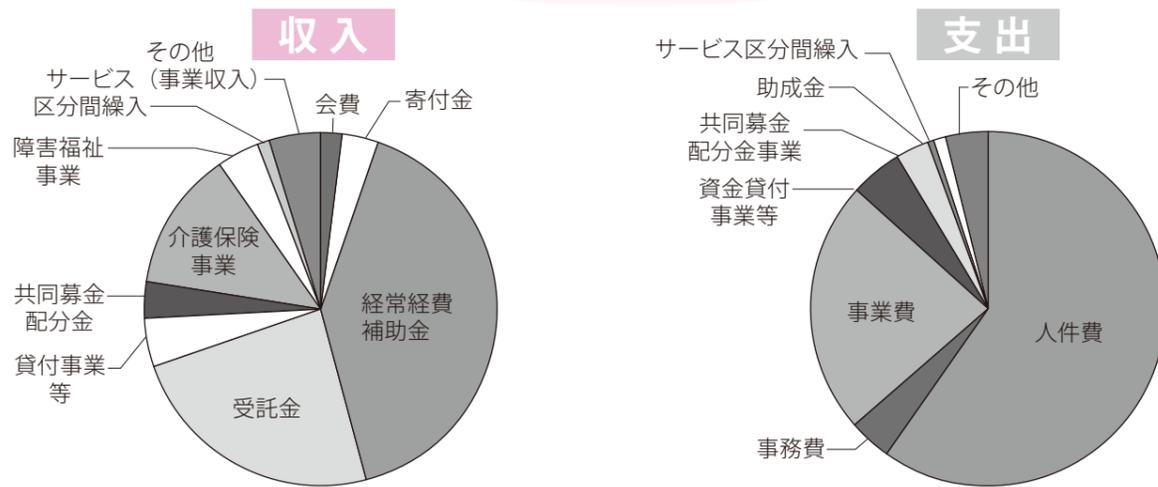
- 各種団体・関係機関等の連携・協働
- 福祉施設連絡協議会
- 共同募金運動
- 福祉金庫の受付・相談
- 生活福祉資金の受付・相談
- 心配ごと相談事業
- 高額療養費の受付・相談
- 補聴器無料相談事業
- 無料法律相談事業
- 地域福祉権利擁護事業
- 苦情体制の受け入れ体制
- 生活困窮者等自立相談支援
- 居宅介護支援事業
- 訪問介護支援事業
- 障がい福祉サービス事業
- 在宅介護者のつどい
- 食の自立支援事業
- 福祉機器貸出事業
- ホームヘルパー派遣事業
- 日本赤十字社事業

地域に顔の見える社協をめざして

- 社協会費の拡大
- 寄付金(一般・香典返し)の受付
- 役員等々の資質向上
- 社協だよりの発行
- ホームページ等の開設
- 各種PR活動
- 福祉まつり(仮)
- メールやアンケートによる意見収集
- 関係機関との意見交換

平成27年度 和水平町社会福祉協議会

一般会計予算



(単位:千円)

収入	勘定科目	金額	摘要
	会費	1,600	社協会費(一般・賛助・特別会員)
	寄付金	2,800	一般寄付金、香典返しなど
	經常経費補助金	32,427	町補助金
	受託金	19,017	県社協受託金・町受託事業、福祉センター指定管理費
	貸付事業等	3,600	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	共同募金配分金	2,500	共同募金配分金
	介護保険事業	10,306	介護保険事業
	障がい福祉事業	3,140	障がい福祉サービス事業
	サービス区分間繰入	900	サービス区分間繰入金
	その他(事業収入)	3,627	事業にかかる参加費、預金利息など
	合計	79,917	

(単位:千円)

支出	勘定科目	金額	摘要
	人件費	47,893	職員人件費
	事務費	3,010	法人運営に係る費用(会議費、通信運搬費、電気代、事務消耗品、賃借料等)
	事業費	18,538	地域福祉事業に係る費用(配食サービス、心配ごと相談、法律相談、男性料理教室等)
	資金貸付事業等	3,600	高額療養費貸付資金、福祉金庫貸付
	共同募金配分金事業	2,500	老人福祉活動費(ひとり暮らしふれあい招待会、老人会、ボランティア団体育成等) 児童青少年福祉活動費(ワークキャンプ、児童デイ、体験学習等) 母子父子福祉活動費(1日父親・母親事業) ボランティア活動育成費(団体育成事業、町ボラ連への助成、介護予防教室支援等) 総合福祉の事業(広報誌、福祉まつり、小地域ネットワーク活動費)
	助成金	390	各種福祉団体等への助成
	サービス区分間繰入	900	サービス区分間繰入金
	その他	3,086	退職共済預け金、予備費
	合計	79,917	

思い出が一つ増えたよ!

児童デイサービス事業

3月25日(水)・26日(木)に、和水平福社センターにて、町内小学生1年～3年生を対象とした、春休み児童デイサービスを開催しました。午前中は学校の宿題や家庭学習をそれぞれ友達と一緒に頑張った後は、非常用としても活用できるカートンドックに挑戦!風が強く、牛乳パックがなかなか燃え上がらないハプニングに見舞われましたが、なんとか食事を摂ることができました。

初日の午後は、スーパーに置いてある傘袋を使用したロケット作りに挑戦しました。出来上がったロケットを皆で飛ばし合い、大変賑わいました。2日目は、旧神尾小学校グラウンドまで皆で歩いていき、ペタリングを行い、白熱した試合展開が繰り広げられ、とても熱心な姿をみることが出来ました。

「外は熱く、少し疲れたけど、また来年も参加したいです!」と言った感想を多く聞くことが出来ました。



赤十字社員増強月間

日赤和水平分区よりお知らせ

日本赤十字社では、5月8日の「世界赤十字デー」に合わせ、5月1日から31日までを運動月間と位置付けています。赤十字社は、国内外問わず幅広く救援活動が行われています。東日本大震災や熊本広域大水害の際にもいち早く、被災地で救援活動や救援物資を搬送されています。

日赤和水平分区におきましても、地域住民の皆様には区長様を通して年間500円以上のご協力をお願いします。なお、皆様から寄せられた募金は、災害時の救援物資や講習会・献血事業等に活用されます。

また、和水平分区では炊き出し用の釜を購入していますので、非常時に備えて、出来ることから始めてみませんか?自主防災組織活動や勉強会の一環として活用されてみてはいかがでしょうか。

詳しくは、社会福祉協議会までお尋ねください。



満開の桜に思いを寄せて 三加和地区合同ふれあい会

4月3日(金)に、3地区ふれあい会の合同花見を開催しました。

当日はあいにくの雨で、残念ながら室内での開催となりました。

満開の桜の木の下でお花見ができればよかったのですが、一年に一回の合同ふれあい会ということで、久しぶりに会われたお友達との会話で、花が咲いていたようでした。

また、地区対抗のレクリエーションや、歌に合わせて自分たちで楽器を演奏したり、とても賑やかな一日となりました。



和水平ボランティア連絡協議会総会開催

4月11日(土)に、和水平福祉センターにて“和水平ボランティア連絡協議会総会”を開催いたしました。当日は、事業報告・決算及び事業計画・予算とも会員の皆さんに承認いただき、木原道代会長をはじめ9団体372名で和水平ボランティア連絡協議会としてスタートすることが出来ました。

その後、講師に南関町教育長 大里耕守様をお招きし“元気を届ける 元気をもらう”と題し、南関町ボランティアの活動紹介や、南関町茶屋跡の案内・保存活動をされているボランティアの取り組み、町ぐるみで推進する健康づくりの活動など、体験談を交えてお話しいただきました。

参加された会員さん方も、お隣南関町の取り組みを熱心に聞かれていたようでした。

また、町内のみかわAG会・和水平地域婦人会からもそれぞれ日頃の活動について発表をしていただきました。

ボランティアは、「出来る時に・楽しく・笑顔で!」をモットーにこれからも一人でも多くの方が活動出来るように推進していきます。



講師:南関町教育長 大里耕守 様



みかわAG会(活動の様子)



和水平地域婦人会

ボランティア活動報告

和水平青年団

3月14日(土)に、和水平青年団(荒木和久団長)による、豚汁とおにぎりの配布が、三加和地区の高齢者世帯(54軒104名)の方を対象に実施されました。

手作りの豚汁とおにぎりが、団員の手により一軒一軒届けられました。

朝から大鍋でたくさん煮込んだ豚汁を、おいしくいただけてもらったのではないのでしょうか。

また、地元で頑張る青年団の姿に、皆さん元気ももらっていたのではないかと思います。



JA玉名北部集荷センター

JA玉名北部集荷センターいちご部会(鶴田秀忠部会長)より、今年度も甘くて美味しいいちごをいただきました。

三加和地区の80歳以上のひとり暮らしの方(128名)と、町内3施設(清風苑・和楽荘・きくすい荘)へと届けられ、大変喜んでいただきました。

4月14日(火)清風苑・和楽荘へ部会の皆様がお届けされました。

4月15日(水)きくすい荘には社協職員が届けました。また、ひとり暮らしの方には、三加和地区の民生委員さんよりお届けしていただきました。



あなたの生活によりそいます!

～生活困窮者等自立相談支援事業～

目的 ふだんの暮らしの中で、様々な不安を抱える方や仕事に就く自信のない方など状態に応じた相談支援を継続的に実施し、また、必要に応じた関係機関(行政・ハローワーク等)と協力・連携しながら、自立に向けての解決策を一緒に探していきます。

対象者

仕事

働きたいが仕事
なかなか見つからない

生活

貯金も生活費も
底をついてしまった

家族

親の介護で何か
サービスを受けたい

健康

病気治療のため
入院費が必要で今後の
生活が不安

将来

子どもが引きこもり
状態で将来が不安



窓

なごみ生活よりそい相談センター (和水町社会福祉協議会内)
電話:0968-34-2366 FAX:0968-34-2412
アドレス: nagomi-syakyou.1@apricot.ocn.ne.jp
相談受付: 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (祝日・年末年始は除く)

リフレッシュ出来ました! 在宅介護者のつどい

3月13日(金)、自宅で介護をしておられる方を対象に、福祉センターにて在宅介護者のつどいを開催しました。介護度や要介護者もそれぞれ違いましたが、お互いに情報を交換し合い、当社協の訪問介護員も同席しアドバイスをさせていただきました。頑張っておられる皆様と次回お会いできるように約束をして閉会しました。なお、27年度は年3回ほどの開催を予定しています。皆様の参加をお待ちしています。



社会福祉士現場実習を終えて



荒木 千晴

この度は、大学の講義では学ぶことの出来ない多くの事を経験させていただきました。今回ご指導いただいた社協職員の皆様をはじめ、温かく迎え入れてくださった地域住民の皆様、また関わることの出来た全ての方に大変感謝しています。ありがとうございました。今回の経験を活かし、残りの大学生活を有意義なものにしたいと思います。



前田 更紗

実習中は、沢山の事業やイベントに参加させていただき日々充実した学びの多い実習となりました。今回、指導していただいた社協職員の皆様、並びに関わることの出来た地域住民の皆様本当にありがとうございました。大学生活残り1年、今回の経験を活かし今まで以上に勉学に励みたいと思います。

Q 「ふれあいサロン」ってなに？

A 高齢者が気軽につどい、和める場所

地域の公民館や空き家などを利用し、地域住民の方の生きがいや健康づくり、閉じこもり防止を目的に、参加者とボランティアが一緒になって企画・運営しながら、お茶会やレクリエーションなどの活動を定期的に開催し、地域の高齢者が“気軽につどえて和める場所”のことを「ふれあいサロン」と言います。



▲十町ゆるっとひろみ亭の様子

Q どこで開催するの？

A 地域の公民館や空き家など

参加者が自力で来られる範囲で、地域の公民館などの公共施設(使用の許可が取れるのであれば、地域の空き家なども可)が良いでしょう。送迎を行う場合は参加者と送迎を行う方との間で「両者の合意(事故の場合も含めて)」が必要となります。

Q 開催回数はどれくらい？

A 無理のないペースで定期的に

特に決まりはありませんが、毎月1～2回開催されていることが多いようです。閉じこもり防止や仲間づくりのためには、無理のないペースで定期的に行えるのが理想的です。

ふれあい・いきいきサロンをはじめませんか?

～地域の公民館などで、みんなが“和める”場所づくり～

Q サロンってどんなことをするの？

A みんなで一緒に無理のない楽しい活動を

「こうなくてはいけない」という決まりはありません。参加者とボランティアで無理なく楽しくできる内容を一緒に考えましょう。

例えば・・・

- おしゃべり・お茶会・歌・ゲーム・食事会・手芸(小物づくりや折り紙など)・勉強会(介護予防についてなど)・ビデオ鑑賞などなど...

もしも企画に困ったら・・・

社協ではレクリエーション道具の貸出も行っています。
●熊本弁カルタ ●輪投げ
●黒ひげ危機一髪
●ルーレットゴルフ
●トランプ などなど



Q サロンはだれが運営するの？

A 参加者全員が、みんなで協力してサロンを盛り上げよう

運営の主体は様々で、ご近所の方向士やボランティア団体などで自主的に運営をしていきましょう。サロン活動を円滑に進めるためには、世話人や代表を決めることは必要ですが、活動内容は世話人の方がひとりで考えたり準備したりする必要はありません。活動を長く続けるためには、少しずつ仲間を増やして、みんなで協力してサロンを盛り上げていくことが大切です。

Q 活動費はどこから出るの？

A 社協からの助成金もあります

経費は各自の負担が基本となりますが、和水町社協からの助成金(対象となるサロンや内容には定めがあります。)なども活用しましょう。また、一回の参加費を決め、会費を管理して運営していく方法もあります。定期的に続けるためにも、みんなが負担にならないように工夫しましょう。

寄付御礼

H27年2月23日～H27年4月21日 受付分

次の方々より香典返しに代えて多額の寄付を頂きました。ご報告と共に、ご逝去された方々のご冥福をお祈り申し上げます。

寄付者	物故者	行政区(住所)
中山 滋 様	亡祖母) ヨシノ	米渡尾
坂本 次春 様	亡母) 光子	熊本市
猿渡 光雄 様	亡母) 智子	下津原西
徳永 宣久 様	亡叔父) 勉	下津原菰田
大塚 健 様	亡妻) 恵三子	中吉地
高木 陸一 様	亡妻) 静香	東吉地
川原 英裕 様	亡母) トシ子	久米野
本山 竜徳 様	亡父) 徳義	日平
坂本 勲 様	亡母) さとむ	内田
坂本 浩一 様	亡父) 有利	内田
高木 大樹 様	亡母) 智代	東吉地
上妻 速敏 様	亡妹) シズ子	板楠東
徳永 和代 様	亡夫) 克己	上岩
赤星ひとみ 様	亡夫) 誠也	岩尻
梶塚 明美 様	亡母) 坂本マツ子	千葉県
眞崎代志子 様	亡夫) 香月	下津田
山口佐枝子 様	亡父) 池田仁司	中和仁
田中 一 様	亡母) マサ子	中和仁
續 良介 様	亡父) 寛一	鶯原
坂本チエノ 様	亡夫) 照文	下津原西
石原由美子 様	亡兄) 洋一	中央団地
田中カズ子 様	亡夫) 功	上大田黒
坂木 良一 様	亡父) 拾	長小田
上妻 雄一 様	亡母) ケイ子	板楠東
田原 正月 様	亡母) ユキエ	西口
石原 民也 様	亡父) 不羈夫	和仁
山下 才弘 様	亡父) 巧	上十町

善意寄付

下記の方々より、善意の寄付を頂き、ありがとうございます。寄付については社協事業に活用させていただきます。

◇金一封◇ ◆匿名 2件

編集後記

この記事の横にお知らせするように、今年度に入り、やっとホームページとフェイスブックの製作に着手することが出来ました。(フェイスブックは4月から運用開始しています。)情報発信の形が増えたことにより、今まで以上に丁寧かつスピーディーな更新を行いたいと思っていますので、是非一度アクセスしてみてください。(石原)

心配ごと相談・補聴器相談・法律相談

	5月	6月	7月
心配ごと相談	5月8日(金) 10:00～12:00 長小田自治会館 行政相談委員1名 民生児童委員2名	6月12日(金) 10:00～12:00 福祉センター 行政相談委員1名 民生児童委員2名	7月10日(金) 10:00～12:00 用木公民館 行政相談委員1名 民生児童委員2名
法律相談	5月22日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》	6月26日(金) 10:00～12:00 老人福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》	7月24日(金) 10:00～12:00 福祉センター 司法書士 1名 (簡易裁判代理権有) 《要予約!》
補聴器相談	5月15日(金) 9:00～12:00 福祉センター 玉名補聴器 センター対応	6月19日(金) 9:00～12:00 老人福祉センター 玉名補聴器 センター対応	

清掃パート募集

和水町福祉センターでは、介護予防事業の利用者を対象として、お風呂を利用しております。その際のお風呂を掃除していただける方を募集しております。

時間に余裕のある方、身体を動かしたい方などお待ちしております。

- ◆ 時間：15時～16時30分(週2回程度)
- ◆ 場所：和水町福祉センター(平野)
- ◆ 時給：700円
- ◆ 人員：2名
- ◆ 内容：お風呂掃除

※詳細につきましては、
社会福祉協議会 (0968-34-2366)
までご連絡ください。



ホームページ&フェイスブック開設

社会福祉協議会では、ホームページとフェイスブックの開設に向けて現在準備を進めています。

フェイスブックは、既に開設していますので、みなさんの「いいね!」をお待ちしています。

ホームページにつきましても、順次情報を掲載していきますので、是非一度見てみてください。